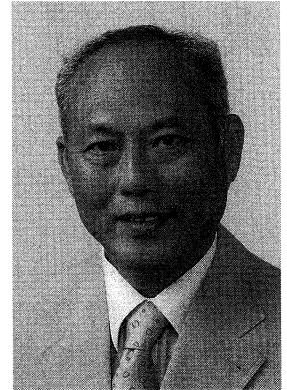


祝 辞



厚生労働大臣

舩添 要一

社団法人日本獣医師会の皆様、創立60周年の記念すべき日を迎えられるに当たり、心からお喜びを申し上げます。

貴会が、獣医学術の振興・普及や獣医事の向上等を図ることにより、動物に関する保健衛生及び公衆衛生の向上等に寄与することを目的として、昭和23年に設立されて以来、60年の長きにわたり、歴代会長を始め会員各位が活発な活動を展開してこられたことに対し、敬意を表する次第です。

さて、本格的な少子高齢社会を迎えた今日、食の安全や感染症など、国民の健康に対する関心は従前にも増して高くなっております。狂犬病予防に関しましては、昭和32年の国内最終発生以来、貴会の多大なる御尽力により、この50年間国内での発生は確認されておりませんが、海外での発生状況を踏まえれば、我が国への侵入に備え、引き続き飼い犬の登録及び予防注射の推進が求められております。また、近年、新興感染症や再興感染症などが注目され、とりわけ鳥インフルエンザや腸管出血性大腸菌O-157、SARSなど、動物に由来する感染症への対応の重要性が大きく認識されるようになりました。これに伴い、感染症対策における獣医師の役割や責務はより重大なものとなっており、今後とも、その活躍がますます期待されております。

食肉、鶏卵等動物性食品の安全性確保につきましては、生産から消費までの各段階における一貫した衛生管理の重要性が認識されており、BSEや食中毒対策のみならず、食品全般の安全性の確保といった観点から、監視指導体制の強化や規格基準の整備等が推進されているところです。

厚生労働省といたしましても、国民の健康を守る立場から、動物由来感染症対策や、食品の安全性の確保に向け取り組んでいるところですが、今後とも、獣医療、公衆衛生の第一線で活躍されている貴会及び会員各位の一層の御指導、御協力が不可欠ですので、改めてよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、獣医療の各分野に携わっておられる皆様には、今後とも公衆衛生の向上に向けた一層の寄与を期待申し上げますとともに、貴会の今後ますますの御発展と会員各位の一層の御活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。